



日本共産党 稲毛 明

地域経済と農業の振興のためにTPP参加阻止を

質問 安倍首相は日米首脳会談で「聖域」を確保できる「感触」を探った上で最終的に判断するとしている。アメリカ力言いなり、財界言いなりの圧力を受け、米国型ルールを押しつけられ、亡国の道に突き進むとしている。

市町村議会が反対、或いは懸念を決議している。当市でも市長を先頭にTPP参加阻止の全市的運

動を取り組むことについて伺う。

答弁 日本のTPP交渉参加についてであるが、安倍首相は日米首脳会談の後、例外品目もありうるとの認識のもとに早期の交渉参加に強い意欲を示している。安倍首相には先の衆議院選挙公約を順守し、国民との約束を守るよう望んだがこの様な姿勢は残念である。

質問 当市の農業団体等を先頭に行動を起こしたときには市長が激励するとか、もう一歩踏みこんでどうか。

答弁 JAとも連携しながら、そういったものも検討していきたい。

学校給食における食材の地産地消の向上を

質問 当市では地域振興作物とし



新政クラブ 江口 卓王

就任2年目、田中市政について

質問 市長の決意を伺う。

答弁 急速に進む少子高齢化、このまま手をこまねいては、働き手の減少により、地域の活力が低下、また、若年層等の人口が減少することで人口構造の世代間のバランスが崩れ、地域のコミュニティも大きく揺らいでくる。このことから就任当初から5つの政策の柱を掲げ、市民協働のまちづく

りの推進、元気で明るく活力のある魅力的なまちを目指している。平成25年度は、さらに、地域の特性を生かし、安全安心の基盤となる「医療」「福祉」、子育てや人材の育成を図る「教育」、農・商・工の元気を引き出す「地域経済の活性化」に重点を置いた施策を積極的に進めていく。

質問 市民は水原郷病院についても大変心配している。「新病院建設に向けて、どういった病院を作りたいのか?」「救急医療に対してのこれからについて」市長の考えを伺う。

答弁 私が目指す病院像を端的に申し上げるならば、「市民が必要ときに、必要な医療を受けられる病院」、これに尽きる。新病院は、「市民の生命を守り」、「市民の安心・安全」、そして「健康な生活の維持」に必要不可欠である。救急体制の復活のためには医師の確保が絶対条件であり、引き続き指

て28品目を対象にしている。転作を全面的に支持する訳ではないが、1万5200円の産地資金を単独助成している。この中より何品目を食材として位置づけ一大産地に発展させていくことを問う。

答弁 今後も関係機関、生産組織等との連携を密にし、地元産の給食食材の確保、消費拡大につとめたい。「いちご(越後姫)」、「ブルーベリー」、本年度より「カリフラワー」、「いちじく」、「オクラ」の一大産地化を農協と共に目指していく計画である。



定管理者である厚生連と歩調を一にし、新潟大学との連携を深めながら、全力を傾注していく。休日、夜間における一次救急体制の早期の構築については、市内の開業医さん以外にも協力をいただける医師がおられないのか、検討していきたい。



日本共産党 倉島 良司

地方税徴収機構は納税者の立場で

質問 地方税徴収機構は納税者の立場に立った、親身な対応でない。納めたくても納められない事情があつて滞納があるのに、『早く納めろ』、『一年以内に完納せよ』と言われても、無理難題だ。『銀行から、親類から借りられないか』などなど、相談者は『滞納した自分が悪いのだから』と、一層長縮するばかり。『住宅のローンは払っ

ているのに、税金を滞納するとは、周りの市民が許しませんよ』と、妻まれる。もっと親身になれないか。

答弁 税負担の公平性確保のため、県と県内市町村が共同で設置した「県地方税徴収機構」に参加し、市税滞納の圧縮に取り組み、親切丁寧な納税相談に努めている。この機構は任意の協力組織であり、法令による根拠を持たず、法人格がないため、各市町村長名で滞納処分を行うことになる(組織名での徴収や滞納処分をすることができない)。

意見 市長から徴収機構に対し、親身で納税意欲の湧くような対応になるよう御指導いただきたい。



無党派 山賀 清一

森林・植林について

質問 森林植林の認識に欠如の為に大切な自然資源が荒れ放題の状態である。国が策定した、森林林業再生プランと歩調を合わせ、国産材の利用拡大と森林林業再生運動を展開し、10年後には民有林森林整備の7割以上、国産材供給体制作りを最優先課題とうたい取り組んでいる。阿賀野市の森林面積は国有林、民有林合わせて7339haあり、人工林面積は

1710ha、県下でも上位にランクされている。国土を守り自然を守り住民が安心して暮らせる環境づくりが最大の宝庫なのに維持管理能力は十分に機能せず関係者の要望は大である

答弁 人工造林の管理は地元組合が管理を行っている。放棄された森林が増加傾向にあり管理が悪いと保水機能が発揮できなく災害の発生や環境の悪化が懸念されることから、今後は一層努力していく。

質問 山林を県が統括的に管理合理的に運営する制度講義が必要、組合と連携し予算措置を十分に、雇用創出も可能であり山林の一元管理する。

答弁 今後は広域基幹林道早期完成と主要林道整備改修を進め路網整備支援を行う。

防犯について

質問 危機管理体制、何時何処で

郷病院新築は、病院再生の大きなチャンス
—市長の決意は…—

質問 平成27年開院に向け、大きく動き出そうとしている郷病院に市民の期待も大きなものがある反面、医師の確保を基本として克服しなければならぬ課題も少なくならず山積している。

市長と厚生連の厚い信頼感と合わせ、議会、市民の後押しが必要と思う。市長の決意を伺う。

答弁 地域の中核病院としてなくてはならない病院である。市民が必要ときに必要な医療を受けられる病院として、県からも支援、協力をいただきたいと考えている。

何が発生するか予測のつかない状況下。市民の安全安心確保のため防犯カメラの早期設置が必要。犯罪事件は多種多様、情報網だけでは限界。物騒な時代、防犯上必要な手段方法。早急に検討に入るべきである。

答弁 防犯カメラは犯罪を未然防止する抑止効果が強く犯罪件数の減少や事件の早期解決につながることは認識している。今後の方向性として犯罪の発生状況など阿賀野市の実情を精査し、関係機関とも連携しながら検討していく。

